

交通関連業務施策

令和6年3月28日
名護市

名護市地域公共交通計画（R4年3月策定）

目標を達成するための施策

目標および各目標に紐づく施策体系（4つの基本目標、11の目標、33の施策）

基本目標	目標	施策
1 持続可能な公共交通サービスの提供	1.市民の公共交通に対する認知向上	1 市民のひろば、WEB の活用による周知強化 2 シンポジウム、イベント等、啓発活動の実施 3 わかりやすい路線表示・運賃表示の検討・実施 4 市街地コミュニティバスの愛称募集 5 公共交通マップの配布
	2.公共交通の利用者数の増加	1 市内のみで完結するバス路線の見直し 2 公立沖縄北部医療センター開院に伴う公共交通ネットワークの再編 3 北部エリア内のバス路線の見直し 4 沖縄幹線路線の見直し 5 モビリティマネジメントの実施 6 学生、高齢者、障がい者等への移動支援策の検討
	3.公的資金投入額の低減	1 路線バス運賃体系の検討 2 スクールバス等の再編検討 3 IT を活用した利用実績等の把握
	4.公共交通の担い手の確保	1 公共交通運転手育成に係る免許取得費用支援の実施検討
2 誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの実現	1.公共交通が利用できる地域の増加	1 公共交通空白地域の縮小に向けた交通ネットワーク再編等の検討 2 郊外部における効率的な交通システム導入の検討
	2.誰もが利用しやすい公共交通の導入	1 ノンステップコミュニティバスの導入 2 ユニバーサルデザインタクシーの導入
	3.公共交通の利用環境の向上	1 バス待ち環境の改善 2 公共交通のMaaS 連携 3 IC カードの普及・促進
3 市街地の利便性向上による賑わい創出	1.市街地エリアの公共交通利用可能地域の増加	1 市街地コミュニティバスの導入
	2.商業施設等への公共交通によるアクセスの向上	1 民間商業施設等とのハード連携 2 民間商業施設とのソフト連携
	3.公共交通の主要な乗継拠点の使いやすさの向上	1 名護バスターミナルの交通結節機能の強化 2 名護漁港に就航する高速船と他交通手段との連携 3 名護漁港周辺エリアの交通結節機能の強化
4 北部地域観光に寄与する公共交通ネットワークの実現	1.観光客の公共交通利用の利便性の向上	1 シェアリングサービスの導入・推進 2 観光施設等のタイアップ施策 3 観光型MaaS の導入・推進 4 周辺観光施設及び北部テーマパークを周遊する輸送手段の導入 5 北部地域全体の観光を支援する輸送手段の導入

基本目標① 持続可能な公共交通サービスの提供

目標①-1：市民の公共交通に対する認知度を向上させる

施策①-1-1：市民のひろば、WEBの活用による周知強化

- 内容**
- 名護市広報誌「市民のひろば」への公共交通に関する記事の掲載や名護市HP等への公共交通に関する情報の掲載等により、名護市内の公共交通の周知・利用促進を図っていきます。

名護市ホームページでのコミュニティバス運行情報の案内

- 名護市のホームページにて、名護市コミュニティバス（なご丸）の運行に関する情報（ダイヤ、運賃、利用方法等）を案内

名護市街地周辺コミュニティバス（なご丸）運行開始のお知らせ

公開日 2023.08.31 更新日 2023.08.30

昨年夏に引き続き、名護市街地周辺の地域住民や来訪者等の移動に係る、公共交通の利便性確保の一環として、コミュニティバスの運行を行います。買い物、通勤、通院、通学等へお出かけの際に、ぜひご利用ください。

※運送状況などにより、予定時刻より遅れて到着する場合があります。イベント開催時などはルート及び停車地を一部変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

名護市街地周辺コミュニティバスの愛称について

市民の皆様による投票で「なご丸」と決定しました

運行路線

循環線（右回り、左回り）※ルート、時刻表等の詳細については、下記のリーフレットをご参照ください

[リーフレットPDF: 4.13MB](#)

- リーフレット
- 運行期間
- 運賃と支払方法
- 利用方法
- 問い合わせ先を掲示

名護市広報誌「市民のひろば」でコミュニティバス運行のお知らせ

- 名護市広報誌「市民のひろば」10月号にて、名護市コミュニティバス（なご丸）に乗ろう！の記事を出稿



出所：名護市広報誌「市民のひろば」10月号

施策①-1-2：シンポジウム、イベント等、啓発活動の実施

- 内容**
- 公共交通に関するシンポジウムやイベント等を実施し、公共交通に関する啓発活動を実施します。

商業施設でのオープンハウスの実施

- 名護市コミュニティバス（なご丸）運行開始前日に商業施設にて、オープンハウスを実施し、コミュニティバスの認知度向上を図った
- ポスターを掲載し、リーフレットを配布。リーフレットは1日で日本語版1,000部、英語版22部を配布した。

実施日時	令和5年9月16日（土） 10:00～17:00	
実施場所	イオン名護店 ①屋外 食品売り場前 ②屋内 ベスト電器横	
実施内容	コミュニティバスの紹介	紹介ブースの設置
	ポスター掲示	パネルにポスターを掲示
	チラシの掲示・配布	机にチラシを平積みし、手渡し
	質問対応	質問への回答
	バスロケーションシステムの紹介・体験	システムの紹介・体験



基本目標① 持続可能な公共交通サービスの提供

目標①-1：市民の公共交通に対する認知度を向上させる

施策①-1-3：わかりやすい路線表示・運賃表示の検討

内容	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域のバス停では、時刻表のみが掲示されているバス停が多いため、バスが利用しにくい状況にあります。どのバス路線に乗れば良いかを認識できるよう、方向性をイメージできる色付きの路線図の掲示等の検討を行います。
----	---

コミュニティバス バス停でのわかりやすい路線の表示・運賃表示

- 名護市コミュニティバス（なご丸）のバス停時刻表で先行的に実施中
- ①時刻表を路線カラーを用いながら、②文字を高齢者でも読みやすいように大きく表示。また、③行き先が分かるように路線図や地理的な配置も把握できるように地図も併せて掲示。④運賃についても案内を設置し、⑤割引運賃対象者や⑦支払いについては現金、OKICA、クレジットカードのタッチ決済が利用できる旨を記載



既存バス停の時刻表イメージ

親切バス停の時刻表イメージ

施策①-1-4：市街地コミュニティバスの愛称募集

内容	<ul style="list-style-type: none"> 市街地コミュニティバスの愛称を市民から募集し、認知してもらうことで、利用促進を図ります。
----	--

商業施設でのオープンハウスの実施

- R4年度に、今後、多くの市民や観光客等に広く愛され、親しみを持っていただけるよう名護市コミュニティバスの愛称を広く募集し、市民の投票を経て、「なご丸」に決定した

募集期間	2022年10月3日（月）～2022年10月31日（月）
応募資格	どなたでも応募可能
応募数	何点でも応募可能、未発表のものに限る
募集にあたってのイメージ、テーマ	名護市をイメージさせるもの
応募方法	<ul style="list-style-type: none"> 名護市役所及び名護市民会館内に応募用紙と応募箱を設置した他、Web、SNS（Facebook、Instagram）、メール、FAX、郵送での応募 小中高等学校、名桜大学、55区の公民館、支所、商業施設にポスターを掲示

■ 審査方法・フロー

- ① 愛称募集
- ② 地域公共交通協議会にて決定フローの承認
- ③ 投票により愛称募集
- ④ 愛称「なご丸」に決定



右図：愛称募集のリーフレット

基本目標① 持続可能な公共交通サービスの提供

目標①-1：市民の公共交通に対する認知度を向上させる

施策①-1-5：公共交通マップの配布

内容	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域の公共交通マップを市内の公民館や主要施設等に配布します。マップの配布を通じて、市民の公共交通に対する認知度向上、利用促進を図ります。
----	--

沖縄県ですでに公共交通の情報提供に取り組んでいる団体との連携

- 公共交通マップを作成配布している団体を協議を実施、わたた〜バス党との連携やバスマップ沖縄に名護市コミュニティバスの路線を掲載してもらっている



目標①-2：公共交通の利用者数を増加させる

施策①-2-1：市内のみで完結するバス路線の見直し

内容	<ul style="list-style-type: none"> 名護市内を運行しているバス路線のうち、市内で完結している屋我地線（系統72番・名護バスターミナル～運天原）、名護東部線（系統78番・名護バスターミナル～有津）について、地域住民の利便性やバス路線の採算性改善のため、バス事業者と連携し、効率的なルート検討及びダイヤの見直しを行います。
----	---

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	関係者調整・手続き						再編の実施	

- 関係者調整・手続きを実施

施策①-2-2：公立沖縄北部医療センター開院に伴う公共交通ネットワークの再編

内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通での利用が多く見込まれる公立沖縄北部医療センターの開院に向けて、公共交通ネットワークの見直しを行います。 見直しの際は、公立沖縄北部医療センター及び交通事業者と連携し、利便性の高いネットワークに再編します。 また、利用者が利用しやすいバス・タクシーの乗り場の環境整備に向けた調整を行います。この際、現行の送迎バス等のルートの再編を行います。
----	--

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	関係者調整・手続き						再編の実施	

- 関係者調整・手続きを実施

基本目標① 持続可能な公共交通サービスの提供

目標①-2：公共交通の利用者数を増加させる

施策①-2-3：北部エリアのバス路線の見直し

内容	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄北部地域の自治体、交通事業者等と連携し、沖縄北部の拠点、玄関口としての機能強化を図るため、北部エリアを運行するバス路線の見直しを行います。公立沖縄北部医療センターの開院及び名護漁港周辺エリアのターミナル機能の強化に合わせて、効率的なネットワークとなるよう再編に向けた検討を行います。 想定される見直し対象路線は、以下の5つの系統のバス路線です。 ≪想定される見直し対象路線≫ 系統65番、系統66番、系統67番、系統70番、系統76番
----	--

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	関係者調整・手続き						再編の実施	

- 関係者調整・手続きを実施

施策①-2-4：モビリティマネジメントの実施

内容	<ul style="list-style-type: none"> 過度な自動車利用から公共交通等が適切に利用される社会の実現や、市民及び地域住民がより主体的に公共交通を利用する意識を持ってもらうこと等を目的として、モビリティマネジメントの各種施策を実施します。 短期的には特定の地域、学校、団体等を対象としたモデル事業による、モビリティマネジメントの実施及び効果の検証を行い、中長期的には、名護市全域への広域的な事業の展開を行うことを想定しております。
----	--

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	企画・関係者調整			実証・効果検証		実施展開		

- 企画の検討

施策①-2-4：沖縄幹線路線の見直し

内容	<ul style="list-style-type: none"> 公立沖縄北部医療センターの開院及び名護漁港周辺エリアのターミナル機能の強化に合わせて、中南部エリアと沖縄北部エリアを結ぶ沖縄幹線路線の見直しを行います。なお、見直しは沖縄県及び交通事業者等と連携し実施します。
----	--

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	関係者調整・手続き						再編の実施	

- 関係者調整・手続きを実施

基本目標① 持続可能な公共交通サービスの提供

目標①-2：公共交通の利用者数を増加させる

施策①-2-5：学生、高齢者、障がい者等への移動支援策の検討

内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通ニーズが高いと考えられる学生、高齢者、障がい者等に対して、より公共交通が利用しやすくなるよう、バス料金割引等の移動支援策の検討を行います。 移動支援策の検討に当たっては、健康増進課、介護長寿課等との調整を行い、福祉関係の移動支援策との連携や調整を図ることとします。
----	---

名護市コミュニティバス（なご丸）の運行と割引運賃の適用

- 名護市コミュニティバス（なご丸）の循環線では、名護高校（名護高校東）と北部農林高校（名護バスターミナル）の始業時間に間に合うダイヤで運行
- 名護市コミュニティバス（なご丸）の循環線と二見以北線の運賃では、未就学児・高齢者（65歳以上）・障がい者は無料、学生（小・中・高生）は半額運賃にて運行

■名護市コミュニティバスの運賃

対象	運賃	確認方法
一般	循環線	一律 200円
	二見以北線	同一エリア内 200円
エリア移動 400円		
未就学児	無料	
高齢者 (65歳以上)		
障がい者		
学生（小・中・高）	半額	

目標①-3：公的資金投入額を低減させる

施策①-3-1：路線バス運賃体系の検討

内容	<ul style="list-style-type: none"> バス路線の採算性の改善に向けては、目標①-2 の各施策による利便性等の向上とあわせて、より路線バスが利用されやすい環境を構築するため、路線バスと市街地コミュニティバス等との乗り継ぎ割引制度等、運賃体系の検討を行います。
----	---

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	企画・関係者調整				随時実施			



- 現状分析、施策の妥当性検討、企画の検討

施策①-3-2：スクールバス等の再編検討

内容	<ul style="list-style-type: none"> 公的資金の負担軽減を図るため、運行区間に重複がみられる、スクールバス、学生送迎バス、病院送迎バス等と路線バス、市街地コミュニティバス等との再編等の検討を行います。
----	---

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	企画・関係者調整				随時実施			



- 関係者ヒアリング・意向確認、現状分析、施策の妥当性検討、企画の検討

基本目標① 持続可能な公共交通サービスの提供

目標①-3：公的資金投入額を低減させる

施策①-3-3：ITを活用した利用実績等の把握

内容	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス等への乗降センサー設置による利用者利用実績等のモニタリングを行うことでの機動的な運行サービスの見直しなど、効率的な運行に向けた検討を行います。
----	---

バス乗降センサーによる利用者の乗降人数の取得

- バス利用者数を把握することを目的に、バス車両の乗降口上部にカメラセンサーを設置した。管理側では便別、バス停別、乗降別の利用者数の把握を行った
- ただし、属性情報が取得できないことから運転手によるカウントの方が有意義なデータを取得できると判断（乗降人員が大きく増えるまで）

★A→Bの通過でカウント

★同時の乗・降もカウント

★引戻、加算は無効

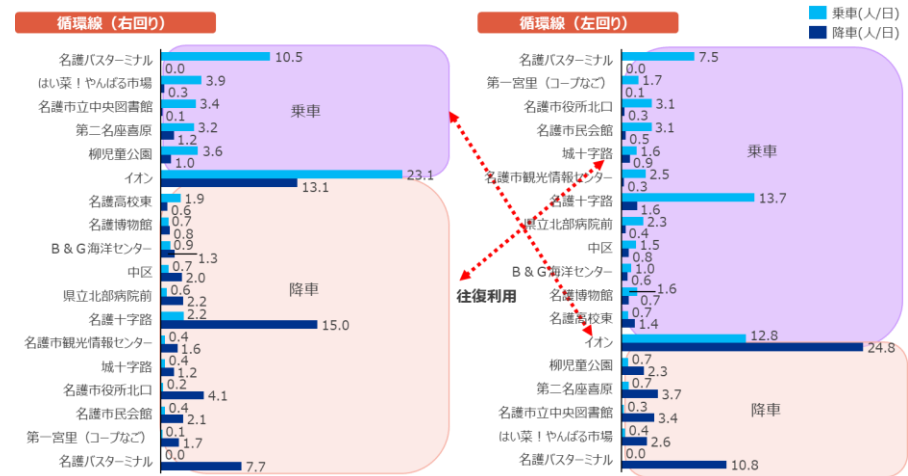
★混雑時の乗車もカウント

個別に認識
横並びも検知

移動経路認識
すり抜けも認識

エリアに対し人が通過した経路を判定しカウント（精度95%）

■バス停別乗降者の集計イメージ



目標①-4：公共交通の担い手を確保する

施策①-4-1：

公共交通運転手育成に係る免許取得費用支援の実施検討

内容	<ul style="list-style-type: none"> 名護市内を運行する路線バス、コミュニティバス、タクシー等の公共交通の担い手確保を目的として、大型自動車第二種免許、普通自動車第二種免許の取得の支援を行います。
----	---

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	企画・関係者調整				随時実施			



- R5年度はバスおよびタクシー事業者、タクシー運転手に実態把握のためのヒアリングを実施
- 免許取得費用支援については、各社で独自に取り組みを進めていることもあるため、幅広く支援内容を企画検討し、関係者調整を行っていく

基本目標② 誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの実現

目標②-1：公共交通が利用できる地域を増加させる

施策②-1-1：

公共交通空白地域の縮小に向けた交通ネットワーク再編等の検討

内容	<ul style="list-style-type: none"> 施策①-2-1「市内のみで完結するバス路線の見直し」、施策①-2-3「北部エリア内のバス路線の見直し」、施策①-2-4「沖縄幹線路線の見直し」においては、公共交通空白地域の縮小に留意して、検討を進めることとします。
-----------	---

公共交通空白地域へのコミュニティバスの運行

- 名護市コミュニティバス（なご丸）循環線は、既存路線バスの運行していない、はい菜！やんばる市場、名護市立中央図書館、柳児童公園、イオン、名護博物館、B & G海洋センター、名護市観光情報センターなどを運行
- 名護市コミュニティバス（なご丸）二見以北線は、既存路線バスの運行していない時間帯の運行を行っており、時間的な空白を補完するとともに、カヌチャリゾート内（フロント棟、クラブハウス）への乗り入れ、路線バスが運行していない人口が集積している大北市営住宅、県営名護団地を運行。また、循環線と重複させることで運行本数を増加させ、はい菜！やんばる市場、名護市立中央図書館、柳児童公園、イオンへのアクセス利便性を向上させている



左図：市街地周辺ルートマップ
下図：二見以北エリアルートマップ



施策②-1-2：郊外部における効率的な交通システム導入の検討（市内路線の見直しと併せて検討）

内容	<ul style="list-style-type: none"> 名護市郊外部等の人口密度が低い地域において、地域の移動特性やニーズを踏まえ、効率的な交通システムの導入に向けた検討を行います。
-----------	---

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	企画・関係者調整				随時導入			



- 現状分析、施策の妥当性検討、企画の検討

基本目標② 誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの実現

目標②-2：誰もが利用しやすい公共交通を導入する

施策②-2-1：ノンステップコミュニティバスの導入

内容	<ul style="list-style-type: none"> 導入を検討している市街地コミュニティバスの車両は、高齢者や障がい者等にも利用しやすいよう、ノンステップバスを想定しております。
-----------	---

ノンステップEVコミュニティバスの導入

- R5年度の実証運行よりEV Motors Japan社が提供するEVコミュニティバスを4台導入
- 大容量バッテリーと世界最高クラスの低消費電力システムを搭載し、1回の充電で230kmの長距離走行が可能
- 多くの市民や観光客等に愛着と親しみをもってもらい、広く利用周知を図るため、ラッピングデザインした車両で運行

F8 series-4-Mini Bus		シングルドア
寸法 (mm)	全長	6,990
	全幅	2,105
	全高	3,100
座席数 (人)	12(座席)+16(立席) +1(運転席)	
乗車定員 (人) ※立席込み	29名	
バッテリー容量 (kWh)	114	



名護市のシンボルと名護親方

名護市のゆるキャラである名護親方をモチーフに採用

名護市の海

「あけみおのまち」をメインテーマに、写真を使ったデザイン

名護の桜と情景

自然味溢れ情景豊かな名護市をテーマとした

名護市の桜

名護市の象徴的存在でもあるカンヒザクラがメインコンセプト

施策②-2-2：ユニバーサルデザインタクシーの導入

内容	<ul style="list-style-type: none"> 様々な方の移動を支えるためのユニバーサルデザインタクシー（広い開口部にスライドステップを備えており、車いすのまま乗り降りができるなど、障がい者や高齢者に配慮された誰もが使いやすい一般タクシー車両）の導入・普及促進をタクシー事業者と連携し実施します。
-----------	--

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	随時導入・普及							



- 現状分析、施策の妥当性検討、支援内容の検討

基本目標② 誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの実現

目標②-3：公共交通の利用環境を向上させる

施策②-3-1：バス待ち環境の改善

内容

- 名護市内のバス停留所について、利用環境の向上のため、上屋・ベンチの設置・修繕や、市内全線共通のバスロケーションシステムの導入等の検討を行います。

施策②-3-2：公共交通のMaaS連携

内容

- 路線バス、高速バス、タクシー、市街地コミュニティバス等の公共交通について、シームレスな利用環境構築のため、MaaS 等を活用した各交通手段の連携について検討を行います。

名護市コミュニティバス(なご丸)へのバスロケーションシステムの導入

- スマートフォンのWebブラウザやPCでアクセスすることで、リアルタイムのバス車両位置や運行ルートを確認できる
- 各バス停を選択することで時刻表、運賃の確認ができる
- 各バスごとにバスロケーションシステムに遷移できるQRコードを貼り付けており、バスを待っている乗客が自身のスマートフォンなどでQRコードを読み取ることで、上記情報を閲覧が可能。また、スマートフォンの画面にも対応している

■バスロケーションシステム画面イメージ (PC)



■バスロケーションシステム画面イメージ (スマートフォン)



GTFS-JPデータの提供

- Google合同会社が運営するGoogle乗換案内にて、遅延情報も含めて経路情報が検索されるように登録した
- 既存のMaaSサービスを代表する1つである経路検索サービス提供事業者(CP)に名護市コミュニティバス(なご丸)の循環線に関するGTFS-JPデータの提供を行った
- また、その他幅広くGTFS-JPデータを活用いただけるようオープンデータ化の取り組みの一つとして一社団法人沖縄オープンラボトリのOpen Data Feedsに掲載いただいている

■一社団法人沖縄オープンラボトリ「OpenDataFeeds」での名護市コミュニティバス(なご丸)のGTFS-JPデータ表示箇所



事業者	サービス名	ライセンス	更新日時
伊是名村	isena.jp	CC-BY 4.0	2024-02-19 15:36:59
伊江島観光バス(株)	okinawa.jp	CC-BY 4.0	2023-07-24 09:00:16
伊江村	kejima.jp	CC-BY 4.0	2023-12-24 15:18:24
八重山観光フェリー(株)	yayama.jp	CC-BY 4.0	2023-12-29 17:34:48
北中城村	北中城.jp	CC-BY 4.0	2023-03-25 18:22:54
南城市	okinawa.jp	CC-BY 4.0	2023-12-28 15:36:57
合同会社やんばる急行バス	okinawa.jp	CC-BY 4.0	2023-12-19 19:16:19
合名会社大神商運	milyako.jp	CC-BY 4.0	2023-09-16 00:01:03
名護市	okinawa.jp	CC-BY 4.0	2023-10-16 23:13:23

基本目標② 誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの実現

目標②-3：公共交通の利用環境を向上させる

施策②-3-3：ICカードの普及・促進

内容

- ・ コミュニティバス等の公共交通の利用環境を向上させるため、運賃支払い方法としてICカード等のキャッシュレス決済の導入に向けた検討を行います。
- ・ また、市内におけるICカードのチャージ可能施設の増加等による、ICカード利用促進の検討も併せて行います。

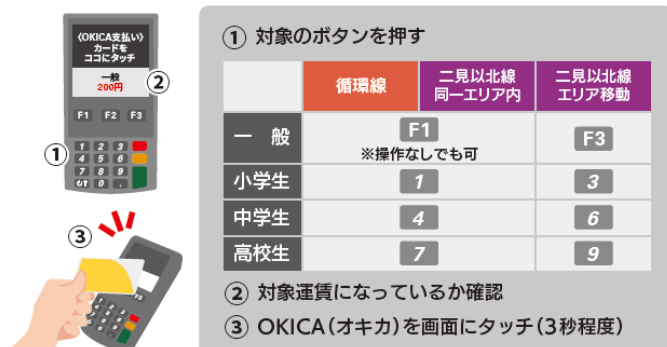
名護市コミュニティバス(なご丸)へのキャッシュレス端末の導入

- ・ 名護市コミュニティバス(なご丸)の運賃支払手段として、現金に加え、OKICA、クレジットカードのタッチ決済が可能な端末を導入した

■ 運賃支払いが可能な手段と支払い方法

お支払	乗車時	降車時
現金(硬貨)	—	投入
OKICA(オキカ)	—	画面にタッチ
クレジットカードタッチ決済 (Visa/JCB/AmericanExpress/ DinersClub/Discover/銀聯)	画面にタッチ	画面にタッチ

OKICA(オキカ)でのお支払い方法



① 対象のボタンを押す

	循環線	二見以北線 同一エリア内	二見以北線 エリア移動
一般	F1 ※操作なしでも可	F3	
小学生	1	3	
中学生	4	6	
高校生	7	9	

② 対象運賃になっているか確認

③ OKICA(オキカ)を画面にタッチ(3秒程度)

基本目標③ 市街地の利便性向上による賑わいの創出

目標③-1：市街地エリアの公共交通が利用できる地域を増やす

施策③-1-1：市街地エリアの公共交通が利用できる地域を増やす

内容

- 名護市街地における公共交通空白・不便地域の解消、国道58号名護バイパスへのアクセス向上による名護市民の生活利便性の向上等を目標として、市街地におけるコミュニティバスを導入します。

名護市コミュニティバス(なご丸)実証運行

- R4、5年度と実証運行を実施している
- 利用者は堅調に推移しており、ノンステップEV車両の導入やキャッシュレス決済への対応など順次サービス改善を図っている他、バス停ごとの乗降データなどの実績データや利用者アンケート等からルートやダイヤ等の改善を図っている

■名護市コミュニティバス（なご丸）リーフレット

名護市コミュニティバスリーフレットのスクリーンショット。左側には「なご丸」のロゴと「2023年 9月17日(日)〜」の運行期間が記載されている。中央には「名護市街地周辺エリア」のルートマップがあり、赤い線でバスルートが示されている。右側には「乗車方法」や「OKICA(おきか)での決済払い方」などの情報が掲載されている。下部には時刻表が掲載されている。

区間	乗車	下車	乗車	下車
15 二見北線	8:33	10:35	11:55	12:10
16 名護市街地中央線	8:25	10:37	11:57	12:12
17 はいで線	10:39	11:59	12:14	13:44
18 名護バスターミナル	8:31	10:43	12:03	12:18

目標③-2：商業施設等への公共交通によるアクセスを向上させる

施策③-2-1：民間商業施設とのハード連携

内容

- 市街地コミュニティバス導入や、短期・中長期の路線バスの見直しの際、商業施設付近への停留所設置等、商業施設へのアクセス向上による生活利便性の向上を図るための検討を行います。また、バスのみならず、タクシー乗り場環境の整備等についても連携し、検討を行います。

商業施設付近や施設内へのバス停設置

- 名護市コミュニティバス（なご丸）の循環線、二見以北線では、はい菜！やんばる市場、イオン、B&G海洋センター、名護市観光情報センター、名護市民会館においては施設内にバス停を設置している。また、かねひで なご湾市場、名護博物館においても施設の目の前にバス停を設置し、施設へのアクセス性の向上による生活利便性の向上を図っている



はい菜！やんばる市場



イオン



名護博物館・B&G海洋センター



かねひで なご湾市場

基本目標③ 市街地の利便性向上による賑わいの創出

目標③-2：商業施設等への公共交通によるアクセスを向上させる

施策③-2-2：民間商業施設とのソフト連携

内容	・ 商業施設を路線バスやコミュニティバスで移動して利用する人を対象とした買い物割引の実施や、MaaS 等を活用した商業施設とバス、タクシーの連携等が連携する施策の検討を行います。							
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
実施スケジュール	企画・関係者調整			随時実施・展開				



- ・ 現状分析、施策の妥当性検討、企画の検討

基本目標③ 市街地の利便性向上による賑わいの創出

目標③-3：公共交通の主要な乗り継ぎ拠点の使いやすさを向上させる

施策③-3-1：名護バスターミナルの交通結節機能の強化

内容	<ul style="list-style-type: none"> 現状の名護市及び沖縄北部地域の交通結節点である、名護バスターミナルの交通結節機能の強化に向けた検討を行います。交通結節機能の強化にあたっては、市街地コミュニティバスや、名護市内を運行する路線バスが利用しやすい環境の構築を目指します。 							
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
実施スケジュール	事業者調整				随時実施			

- 名護市総合交通ターミナル実現化検討事業にて検討中

施策③-3-2：名護漁港に就航する高速船と他交通手段との連携

内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度より運航開始予定の那覇～名護間の高速船と市街地コミュニティバス、タクシー等の二次交通手段との連携を図るため、名護漁港内の名護市観光情報センター付近での、コミュニティバス停留所の設置やタクシーの駐機スペースの確保に努めます。 本施策の実施に向けては、国や県の実証メニュー等を活用しながら検討を行うことも想定しています。
----	--

名護市コミュニティバス(なご丸)の名護市観光情報センターでの接続

循環線	<ul style="list-style-type: none"> 名護着(9:45、16:25)の高速船と循環線(左回り)とを乗り継ぎできるように設定。そのまま市街地へ行けるよう配慮 名護発那覇行(10:05、16:45)の高速船と循環線(右回り)を乗り継ぎできるように設定。市街地から那覇へ行けるよう配慮
-----	---

施策③-3-3：名護漁港周辺エリアの交通結節機能の強化

内容	<ul style="list-style-type: none"> 名護湾沿岸基本計画(令和3年3月)では、10年以内に名護漁港周辺エリアの交通結節機能の充実を図ることとしております。名護漁港周辺エリアを交通結節点として整備し、路線バス、コミュニティバス、タクシー、高速船等各種モビリティ間の連携・強化を図り、公共交通に関する利便性の向上を目指します。 検討にあたっては、名護湾沿岸基本計画等との整合を図り、バス事業者、タクシー事業者等の意向を踏まえ実施することとします。 							
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
実施スケジュール	計画・設計等				施設設備の工事			

- 名護市総合交通ターミナル実現化検討事業にて検討中

基本目標④ 北部地域観光に寄与する公共交通ネットワークの実現

目標④-1：観光客の公共交通利用の利便性を向上させる

施策④-1-1：シェアリングサービスの導入・推進

内容	<ul style="list-style-type: none"> 中南部地域から高速バス等で名護市内に移動したあとの移動手段を提供するため、カーシェア、シェアサイクル等のシェアリングサービスの導入の検討を行います。 具体的には、令和4年度から高速船の就航が予定されている名護漁港からの移動手段や市内中心部の各施設等への設置を想定しております。 本施策の実施に向けては、国や県の実証メニュー等を活用しながら検討を行うことを想定しています。 							
----	---	--	--	--	--	--	--	--

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	企画・関係者調整			随時実施・展開				

- 現状分析、施策の妥当性検討、企画の検討

施策④-1-2：観光施設等のタイアップ施策

内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光地と公共交通のタイアップ企画など、公共交通を利用して観光地を訪問しやすい施策の検討を行います。 							
----	---	--	--	--	--	--	--	--

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	企画・関係者調整			随時実施				

- 現状分析、施策の妥当性検討、企画の検討

施策④-1-3：観光型MaaSの導入・推進

内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光客がより公共交通を利用しやすい環境を構築するため、沖縄MaaS等へのコミュニティバスの登録や、MaaSが利用されやすい名護市の実現に向けて、観光施設や観光協会等との連携によりMaaSメニューの充実等にむけた検討を行います。 観光型MaaSの導入・推進に向けては、国や県の実証メニュー等を活用しながら検討を行うことを想定します。
----	--

GTFS-JPデータの提供

- Google合同会社が運営するGoogle乗換案内にて、遅延情報も含めて経路情報が検索されるように登録した
- 既存のMaaSサービスを代表する1つである経路検索サービス提供事業者（CP）に名護市コミュニティバス（なご丸）の循環線に関するGTFS-JPデータの提供を行った
- また、その他幅広くGTFS-JPデータを活用いただけるようオープンデータ化の取り組みの一つとして一社団法人沖縄オープンラボトリのOpen Data Feedsに掲載いただいている

- 一社団法人沖縄オープンラボトリ「OpenDataFeeds」での名護市コミュニティバス（なご丸）のGTFS-JPデータ表示箇所



基本目標④ 北部地域観光に寄与する公共交通ネットワークの実現

目標④-1：観光客の公共交通利用の利便性を向上させる

施策④-1-4：

周辺観光施設及び北部テーマパークを周遊する輸送手段の導入

内容	<ul style="list-style-type: none">名護市内に点在する観光地の周遊観光が可能な輸送手段の検討を行います。北部テーマパーク開業時には北部テーマパークへの導入の検討も行います。
----	---

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	企画・関係者調整			市内観光施設導入 北部テーマパーク導入				

- - 現状分析、施策の妥当性検討、企画の検討、関係者調整

施策④-1-5：

北部地域全体の観光を支援する輸送手段の導入

内容	<ul style="list-style-type: none">名護漁港周辺を拠点に、北部地域の観光スポットである、やんばる世界自然遺産、本部港のクルーズターミナル等へのアクセスなどを可能とする輸送手段の検討を行います。
----	--

実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11 ～
	検討・関係者調整				随時導入			

- - 現状分析、施策の妥当性検討、企画の検討、関係者調整